



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.5.29 No.3224

## 効率よりも

# 動労千葉対策を優先

## 業務移管の先駆け 「あずさ」成田乗り入れを 東京運転区担当

JR東日本は、五月一日に夏季輸送計画を提案したが、その後まともな団交されないまま一方的強行実施に向けて、六月一日より二八日まで、東京電車区乗務員の成田線の線見を強行せんとしている。

これは夏季輸送及びその前後に設定されている週末特急列車「あずさ号」ウイングエクスプレス号を東京電車区に業務移管する為のものであり、線見は回送の訓練列車を設定し、東京―千葉間と、千葉―成田間の三往復を二〇日間にわたって行うものである。業務移管せんとしている列車は合計二八本、それに対して訓練列車はなんと六〇往復にもなる。

的に強行されるであろう

ことも、又明白だ。かつての総武快速線、成田線の業務移管と同様に、いやそれをはるかに越えたものものしきで乗員、JR総連を大動員し強行するであろう。

そもそも新宿―成田を東京電車区に担当させること自体が、全く理にかなわぬものである。当局は三月「ダイ改」

において「あずさ」を千葉運転区から三鷹電車区に移管した。その唯一の理由が「効率」にあったはずだ。しかるに今度は逆行しようというのだ。具体的に見れば……

幕張入出区の場合  
東京電車区：東京―幕張間の便乗、千葉運転区：千葉―幕張で東京の三分の一の訓練運転

東京電車区：千葉―成田  
新宿―錦糸町間  
千葉運転区：周知の通り

まさに非効率の極みとしか言い様がない！

当局の意図は明確に、来年の「空港乗り入れ」の先取りであり、更に特急、快速の業務移管を目論んだものである。

三、一八―二一ストの打撃があまりに大きかったがゆえに、今当局は無法の限りをつくし処分を強行せんとしている。

また異常極まるスト弾圧、更には前代未聞のスト破り褒章金、住田の「おわび」に名をかりた誹謗、中傷の数々、これら一斉合唱が「動労千葉憎し」でこり固まった、完全なる不当労働行為である。

業務移管と、不当処分これが危機にたつ彼らに残された唯一の動労千葉破壊攻撃であるらしい。われわれは線見強行を断じて許さない。当局、JR総連の結託した成田線乗つとりを粉砕するぞ！全組合員の怒りの抗議をたたきつけよう！



## 全国駆けめぐるオルグ団



### 組合員の四二万円 の達成をのぞ



90夏季物販闘争も六、七月いよいよ正念場に突入しました。協販部、事業団、そして各支部役員で構成したオルグ団は、北は北海道から南は九州まで全国を駆けめぐり支援・連帯を訴えつつつけています。

確かに国労物販との競争となっており、一面では厳しい状況はありますが、清算事業団への首切り攻撃に対する労働者の怒りは、広く深く、確実に例年の実績を上回る勢い新たな10年を切りひらこう

動労千葉争議団四六名の生活を守り、JRの異常な姿勢を打破し、正しめてゆくためにも、ここの一番頭張りきろうではありませんか。新たな不当処分策動を粉砕し、90年代の勝利にむけた決戦的闘い課題こそ物販です。全国から寄せられる支援にこたえるために当事者である動労千葉組合員の、自らの奮闘が必要で、一人二万円達成にむけて全組合員の総決起を重ねてお願い致します。